

한통련 뉴스레터

제61호

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●IAEA報告書…日本政府に免罪符、屈辱外交続ける韓国政府



グロッシ事務局長から報告書を受け取る岸田文雄首相

IAEA事務局長、福島汚染水海洋投棄「基準に合致」…日本、準備進める

東京電力福島第1原発の敷地内にたまる放射性物質トリチウムを含む汚染水(※日本政府は「処理水」)の海洋投棄(※日本政府は「放出」)計画を巡り、岸田文雄首相は7月4日、国際原子力機関(IAEA)のグロッシ事務局長と首相官邸で面会。計画について、規定の安全基準に合致すると結論付けたIAEAの包括報告書を受け取った。報告書は放出が人体や環境に与える影響は極めて低いとの見方も示した。岸田首相は今後、「夏ごろ」としてきた放出開始時期を最終判断する。

韓国政府、IAEA報告書「尊重」

韓国政府の朴購然(パク・グヨン) 国務調整室第1次長は5日、政府ソウル庁舎で行った定例会見で「IAEAは国際的に合意された権威ある機関であるため、そこで(結論を)下したことに對して尊重するという政府の基本的立場は以前から申し上げ

てきた」とした上で、「今回も同様だ」と述べた。一方、IAEAの報告書の内容については「分析を進めている」として判断を留保した。

韓国政府は7日、汚染水海洋投棄計画の安全性を検証した報告書を公表した。報告書では「計画通り行われれば、(放射性物質の)排出基準と目標値に適合し、IAEAなどの国際基準に合致する」と判断した。韓国政府は韓国原子力安全技術院(KINS)が中心となり、2021年8月から汚染水の海洋放出の安全性を検証してきた。

グロッシ事務局長は8日、訪韓し劉国熙(ユ・グッキ)原子力安全委員長、朴振(パク・ジン)外交部長官、共に民主党の議員らと面談。グロッシ事務局長は抗議行動により仁川空港から2時間余り出ることができず、議員からは痛烈な批判を浴びた。

朝鮮政府、IAEAを非難

朝鮮政府は9日、国土環境保護省対外事業局長の談話としてIAEAを非難する声明を出した。朝鮮中央通信が報じた。

朝鮮は汚染水海洋投棄について、人類の生命と安全、生態環境を危機に陥れると批判。その上で「想像するだけでおぞましい放射能汚染水の海洋投棄計画を積極的にかばい助長している」とIAEAを非難した。グロッシ事務局長については、朝鮮の核開発を批判する一方で日本の汚染水海洋

投棄を擁護しているとして「極端なダブルスタンダードの典型」と断じた。

米国政府、IAEA報告書「支持」

サリバン米大統領補佐官（国家安全保障担当）は7日の記者会見で、汚染水海洋投棄について「IAEA報告書は優れた国際機関による専門的な分析に基づいている」と述べ、支持する考えを示した。サリバン氏はまた、韓国政府が処理水の安全性を認める独自の検証結果を発表したことについて「非常に建設的だ」と評価した。

IAEA報告書…与「謙虚に受け入れる」、野「空っぽの報告書」

与党「国民の力」は4日、IAEA報告書に対し、「国際社会の中核国家として結果を謙虚に受け入れなければならない」との首席報道官論評を発表した。野党「共に民主党」の「福島原発汚染水海洋投棄阻止対策委員会」は同日出した立場文で、「IAEAは国際機関として汚染水の安全性を検証する責任を事実上放棄した」とし、報告書の中身のない「空っぽの報告書」と非難した。野党はハンガーストライキ、座り込み、決意大会など計画阻止行動を展開中。

市民団体と漁業団体で構成する「汚染水海洋投棄阻止共同行動」は8日、「第4回全国行動の日」を開催し反対の声を上げた。

韓日間で計画阻止連帯闘争

野党「進歩党」代表団（団長、カン・ソンヒ議員）が、汚染水海洋投棄計画の撤回を求めるため3～5日まで訪日し、首相官邸やIAEA東京地域事務所などの前でデモを行い、抗議の書簡を伝達した。

共に民主党と無所属の議員（ユン・ミヒャン議員を含む）計11人からなる議員団も10～12日に訪日し、計画阻止のための行動を展開した。日本からは社会民主党の議員らが6日に訪韓し野党と連帯した。（※東京での行動は次号で報告）

日本政府に免罪符を与えたIAEA、対日屈辱外交を続ける韓国政府

福島原発汚染水海洋投棄に対するIAEAの最終報告書が公開されたが、予想通り「処理水が放出されても人と環境に及ぼす影響は微々たるもの」との結論だ。

そもそも、IAEAは核の平和的（民生）利用すなわち原発の安全運用を担当する国際機関に過ぎない。史上初となる原発汚染水投棄による海洋の安全を検証する権威も能力も備えていない。案の定、IAEAは海洋汚染および水産物の安全などを検証するための積極的な措置を取らず、安全性は確認できなかった。さらに、IAEAは報告書で「IAEAと（IAEAの）会員国は報告書の使用により発生しうる結果になんら責任を負わない」と言及。放出は「安全」だと評価しておきながら、責任は放棄した。このような報告書をどうして信頼できるだろうか。

日本政府はIAEAの報告書で安全性が認められたと放出計画を積極推進。IAEAは日本政府に免罪符を与えた。韓国政府は、85パーセントの国民が汚染水海洋投棄に「反対・不安」だと世論調査結果が示しているにもかかわらず、IAEA報告書を「尊重する」、自身の報告書も「IAEAなどの国際基準に合致する」として、なんら対策を取ろうとしない。NATO首脳会議（7月10～15日、リトアニア）を機に開かれる韓日首脳会談で議題に取り上げるべきなのに、大統領室は「議題は決まっていない」「日本側から言及があれば大統領が必要な話をする」と全く他人事。こうした無気力で傍観的な姿勢は対日屈辱外交の延長線上から必然的に生まれたものだ。

米国政府は安全保障上の観点から韓米日3カ国の連携を重視し、無条件で韓日関係の「改善」を後押しする立場で安全性は眼中にない。

韓国の国民世論を背景にした汎国民的な反対闘争と、ますます連携が強まる韓日連帯闘争、そして国際世論の結合で、汚染水海洋投棄を阻止しなければならない。

활동보고 活動報告

●「韓国良心囚を支援する会全国会議」が全国運動出発集会を開催…良心囚の人生を描いたドキュメンタリー番組を上映



報告するリ・リョンギョン研究員

「韓国良心囚を支援する会全国会議」は6月29日、都内で2023年全国運動出発集会を開催した。

渡辺一夫代表が主催者あいさつ。「韓国の民主化の進展により、多くの良心囚が再審無罪を勝ち取った。今後も一人でも多くの方の名誉回復のために努力していきたい」と語った。

在日韓国人良心囚の金英姫（キム・ヨンヒ）氏と、夫の柳英数（ユ・ヨンス）氏の人生に焦点を当てた韓国KBSのドキュメンタリー番組「スパイと島の娘」を上映。在日韓国良心囚同友会の李哲（イ・チョ

ル）代表は番組について「韓国ではユーチューブで15万回以上再生され、大きな影響を与えた」と解説。金、柳両氏との出会いと交流の日々を振り返った。

立教大学平和・コミュニティ研究機構のリ・リョンギョン研究員が報告。番組について「以前から良心囚に関する番組はあったが、最近では『事件』から『人』に焦点が移りつつある。KBSは、事件当時自ら捏造に加担したことを明らかにし、反省する報道をするようになった。韓国市民の関心も高まっている」と評価した。

元良心囚の金元重（キム・ウォンジュン）氏が報告。過去事整理委員会について「委員長が右派の人物に交代し、厳しい状況だが、調査員の中には良心的な人物もあり、努力している。私たちも再審にむけて積極的に努力していかなくてはならない」と強調した。

石井寛事務局長が閉会あいさつ。韓国政府に対してさらなる努力を要求するとともに、参加者らに全国会議の活動に対する継続的な協力を要請した。

●「新しい戦前にさせない」第4回シンポジウム開催…「中国・朝鮮の脅威論を越えて」



発言する李柄輝教授

社会民主党と新社会党および各界人士で構成する「共同テーブル」が6月29日、衆院第1議員会館で「新しい戦前にさせない」第4回シンポジウム「中国・朝鮮の脅

威論を越えて」を開催した。

第1部では、元外務省国際情報局長・東アジア共同体研究所長の孫崎享さんが「脅威論の真相を剥ぎ、平和への道を探求する」と題して基調講演。

第2部では基調講演を受けて「中国・朝鮮の脅威論を越えて」をテーマにシンポジウムが行われた。発言者は上海大教授の王祝さん、朝鮮大学校教授の李柄輝（リ・ビョンフィ）さん、青山学院大名誉教授の羽場久美子さん、コーディネーターを東京造形大名誉教授の前田朗さんが務めた。

李教授は△「金正恩（キム・ジョンウン）国務委員長は朝米関係を正常化し、安定した国際関係の中で自国の経済発展を重

視するというシナリオを描いていた」とし、それが2018年朝米首脳会談・共同声明として実現した△しかし、その後の米国政府の対朝鮮敵視政策、さらには新冷戦秩序における韓米日による軍事圧迫に対抗

するために、朝鮮は「核兵器法制化」を図り、「核・ミサイルの高度化」を進めていると解説。「脅威の連鎖」を断ち切るために、東アジアの対話の場をどうつくるのがわたしたちの課題だと提起した。

●6・30東京総行動…日本製鉄に謝罪と補償を求める



「日鉄裁判を支援する会」からアピール

自立した争議団が共闘し連帯して、「働く権利 働く者の権利 人間としての権利」を守るために一日行動を展開する「東京総行動」が6月30日、けんり総行動実

行委員会の主催により取り組まれた。

出発集会は東京駅近くの日本製鉄本社前で開催。東京全労協の大森進議長の主催者あいさつに続いて、「日本製鉄元徴用工裁判を支援する会」が、「日本製鉄は日韓請求権協定により『解決済み』だとして、被害者への謝罪も補償もしないと言明した。日本製鉄は日本と韓国を通じて20数年間争った民事訴訟の『最終判決』として賠償を命じられた当事者。このまま責任を逃れて済ませることは社会的にも許されない。被害者が納得できる謝罪と補償なしに真の解決はあり得ない」とアピールした。

東京総行動は争議対象団体をめぐり、日本航空（JAL）不当解雇撤回争議団による解決要求で締めくくった。

●韓統連が平和協定学習会を開催…平和協定締結の意義を共有



報告する金昌範副代表委員

朝鮮戦争の停戦協定締結から70年を迎え、韓統連関西協議会は6月25日、PLP会館（大阪市北区）で学習会「停戦協定を平和協定に変えよう！～戦争を終え、平和へ～」を開催した。

金隆司（キム・ユンサ）韓統連大阪本部代表委員が主催者あいさつ。「朝鮮戦争の起源をたどっていくと、この戦争の本質が

理解できる。今日の学習会を通じて朝鮮戦争の本質と平和協定がなぜ必要なのかについて認識を深めていこう」と語った。

金昌範（キム・チャンボム）大阪本部副代表委員が報告。金副代表委員は朝鮮戦争の開戦に至る経緯を報告しながら、「北の南進説については根拠が不明」と述べるとともに、戦争の推移を振り返り「米国は朝鮮人民軍の戦闘力を軽視していた」と指摘した。

1953年に締結された停戦協定について解説し、「停戦協定ではすべての外国軍隊は朝鮮半島から撤退と明記され、ソ連は撤退したが、米国は53年8月に韓米相互防衛条約を仮調印し、在韓米軍が創立された」と語り、平和協定締結に向けて「4・27板門店宣言では休戦協定を平和協定に転換し、恒久的平和体制構築のための4者会談の会談を推進すると明記されている。

米国の承諾なしに平和協定締結は困難なのはもちろんだが、南北の自主力量が平和協定締結の可能性を高めていく」と強調した。

質疑討論後、金昌五（キム・チャンオ）韓統連大阪本部副代表委員から、7月22日にソウルで開かれる「停戦70年 朝鮮半島平和大会」と大会に参加する訪韓団が紹介され、崔孝行（チェ・ヒョヘン）兵庫本

部代表委員が閉会挨拶した。

学習会は全国単位で開催され、関東（神奈川県）は6月18日に川崎市内で、東海は7月2日に名古屋市内で開催。それぞれ金副代表委員が報告し、統一旗への寄せ書き、平和協定締結を求めるプラカード・アピール、署名活動を行った。

平和協定締結を求めるプラカード・アピール



関西



東海



神奈川

学習会を振り返って

韓統連大阪本部副代表委員 金昌範（キム・チャンボム）

朝鮮戦争について掘り下げて学ぼうとしたきっかけは、10年前にありました。

朝鮮戦争停戦60年になる2013年、東京で国際シンポジウムがありました。郭東儀（カク・トンイ）先生が実行委員長を務められていたシンポジウムは、米国やカナダからの活動家、研究者ら、そして海外同胞の研究者らが一堂に会し、米国の戦争犯罪を示す具体的な報告や、停戦から平和を実現するための課題が報告されるなど、非常に充実した内容でした。

しかし開催から数か月後に「統一評論」という雑誌を通じてそのシンポジウムの存在を知ったとき、私には『なぜ、このシンポジウムの存在を知らなかったのだろうか』『なぜ、ウリナラ（わたしたちの国）の平和実現のための知恵を突き詰めて求めて来なかったのだろうか』という思いが去来しました。時すでに歳50代半ばです。情けない話です。一方で、同じ思いを繰り返さないでおこうと思い、3年余り前から、それまで韓統連大阪生野支部で培った現代史に対する知識を土台に、朝鮮戦争及び平和協定の課題などをテーマに学び直し、現在に至っています。

この度、全国3地域で講演を担当し、良い経験となりました。ただ、今振り返ると、更に整理し得る余地もあったと、反省もあります。全国の仲間の皆さんの活動に少しでも足しになったなら幸いですし、建設的な批判もいただければ嬉しいです。

最後に、このテーマ、節目の年に学習してソウルに代表団を派遣して終わり、にしないようにしましょう。本来、継続性あってこそその運動ですから。私も、どのように継続できるかについて、動きながら考えたいと思います。これからも、ともに努力しましょう。

●韓統連愛知本部が第8回定期総会を開催…趙基峰氏を代表委員に再選



決意を新たにする愛知本部常任委員たち

韓統連愛知本部は7月2日、本部事務所で第8回総会を開催した。

趙基峰（チョ・キボン）代表委員が開会あいさつ。「尹政権は反北主義を貫き韓米日軍事一体化を進め、朝鮮半島の危機を増大させている。国内外で高まる尹政権退陣闘争に連帯していこう」と語った。

宋世一（ソン・セイル）委員長からの祝賀メッセージが朗読され、「尹政権の外交は国益を売り飛ばし、内政では新自由主義により経済危機を生み出している。大会を契機に愛知本部が尹政権退陣の先頭に立つ

ことを祈念する」と紹介された。

姜春根（カン・チュングン）常任顧問が激励あいさつ。「前回の大統領選挙の時の若者（男性）の投票が残念でならない。しかし、今の状況にひるむことなくネバーギブアップでやっていこう」と強調した。

金源道（キム・ウォンド）事務局長から総括・方針が提起され「組織改革委員会の役割を積極的に愛知本部が担ってきた」と強調しながら、「総括期間にセミナー、集会、映画上映運動を行い活動領域を拡大してきた」と評価した。

方針では「全国の同志と共に、尹政権退陣運動に邁進しよう。また今年は関東大震災100年で、愛知での行事に積極的に参加しよう」と提起した。

財政報告後、人事では趙基峰（チョ・キボン）氏が代表委員に再選され、趙代表委員は「生涯現役の幸せをかみしめながら、皆で自主・民主・統一運動をやり抜こう」と決意を語った。

●都内で第7回尹錫悦政権糾弾集会を開催…汚染水海洋投棄を批判



アピールする韓成祐委員長（中央）

東京民主実践連帯（東民連）は7月8日、都内の新宿駅西口地下広場で第7回尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権糾弾集会を開催。韓統連・韓青や在日同胞、ニューカマーの韓国人や日本人が有志で参加した。

東民連のペ・ウンミ代表が主催者あいさつ。「日本の海洋テロともいえる福島原発汚染水の海洋投棄を、尹錫悦政権は黙認し

ている。こんな人物が韓国の代表者であってはならない」と批判。日本市民に対して「放射性物質はガンの危険性があり、今回海洋投棄すれば取り返しのつかないことになる。積極的に反対の声を上げてほしい」と訴えた。

韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は福島原発の汚染水海洋投棄について「IAEAが日本と韓国を歴訪しているが、グロッシ事務局長からはきちんとした説明がなく、到底納得することができない。より科学的な立証をするべきであり、断固反対する」と強調した。

韓統連の申久江（シン・クガン）氏と李香代子（イ・ヒャンデジャ）氏は、「日本政府の放射性廃棄物の海洋投棄は人類の海を冒瀆する国家的な犯罪行為であり、それを擁護する尹錫悦大統領には大統領の資格はない」と語った。他の参加者たちも口々に汚染水海洋投棄に反対した。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長が閉会あいさつ。「今回の汚染水海洋投棄や、強制動員被害者（元「徴用工」）問題は、すべて日本政府の都合のいいように進んでいる。尹政権の対日屈辱外交が根本的な要因であり、このような売国政権にわ

たしたち民族の運命を委ねてはならない」と主張。「韓国では先日、進歩陣営が中心となり、尹錫悦政権退陣運動本部が結成された。今後、退陣運動はより強固になっていくだろう。わたしたちも連帯し、今後も粘り強く闘っていこう」と語った。

糾弾集会の様子が韓国のインターネットメディア「The探査」でライブ中継されました
<https://www.youtube.com/live/KiIpNM5-TsA?feature=share>

●大阪で韓統連セミナーを開催…尹政権の問題を共有



報告する金昌範副代表委員

韓統連大阪本部は7月9日、KCC会館（大阪市生野区）で韓統連セミナー2023シリーズ「尹錫悦政権とどのように向き合うか」第3回（最終回）「尹政権と韓国民衆～経済、労働、教育、ジェンダーなどの視点から～」を開催した。

金隆司（キム・ユンサ）代表委員が主催者あいさつ。「尹錫悦（ユン・ソンヨル）政権＝検察共和国と言われてきたが、最近では極右政権と評されるほど民主政治に逆行する政策を行っている」と述べ、「今回は韓国民衆の闘いを共有しながら、尹政権退陣運動を進めるための認識を共有しよ

う」と語った。

金昌範（キム・チャンボム）副代表委員が報告。金副代表委員は初めに尹政権発足後の経済状況について「今年に入り失業率が20代7.0%、30代2.7%で、就業者の多くは非正規労働者で、若者の低く不安定な経済状況が少子化の大きな要因の一つである」と指摘。「尹政権は財閥優遇の経済政策をとり、民主労総を徹底して弾圧している」と語った。

尹政権の外交政策については「徹底した親米・反北思想で南北の緊張関係を増大させ、韓国社会の萎縮と分裂を拡大させている。尹政権を倒すためには弾圧を受けている民主労総を支援し、来年の総選挙で「共に民主党」だけでなく、進歩政党も躍進することが求められる」と強調した。

質疑討論後、崔誠一（チェ・ソンイル）事務局長から、7月22日にソウルで開かれる「停戦70年 朝鮮半島平和行動」に参加する代表団が紹介された。

●兵庫で韓統連セミナーを開催…米国の支配と干渉を批判



報告する金昌五副代表委員

韓統連兵庫本部は7月9日、神戸市内でセミナー「朝鮮戦争『休戦協定』締結70年—「平和協定」で戦争のない朝鮮半島を一ハトはなぜ飛び立つことができないのか」を開催した。

崔孝行（チェ・ヒョヘン）代表委員が主催者あいさつ。「長い間、開催ができなかった兵庫セミナーを今後は年に1～2回は開催したい。このセミナーを、参加者のみなさんといろいろな問題を考える場とした

い」と述べた。

平和協定締結に向けた韓国内での取り組みを紹介する映像を観賞後、韓統連大阪本部の金昌五（キム・チャンオ）副代表委員が「戦争の危機を克服して、平和と繁栄の時代を切り開こう！」と題し講演。

金副代表委員は、日本による朝鮮への蔑視感の原因と現在に至る過程を、「慰安婦」問題や「強制的動員被害者（元「徴用工）」問題等に関連付けて解説。米国に対しては解放後における米国の侵略と支配の問題を指摘し、「停戦協定以後の在韓米

軍駐屯は停戦協定違反だ」と批判。尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領については「米日と一体となって朝鮮を敵視し軍事緊張を高めている政権だ」と非難した。

今後の課題として「平和を願う韓国民衆の闘いに連帯し、次回大統領選挙で勝利し自主的民主政府を樹立すること。それが朝鮮半島のみならず世界の平和と繁栄につながる」と強調した。

学習会後、平和協定の締結を要求するプラカード・アピールを展開した。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ

행사예정 行事予定

8月

第55回韓青西日本夏期講習会(サマーキャンプ2023)

日時: 8月5日(土)～6日(日) 場所: 香川県高松市内および女木島 内容: 学習企画、海水浴、観光、BBQ、レクリエーションなど 主催: 韓青関西地方協議会 連絡先: 03-4400-5331 (ハン)

第55回韓青東日本夏期講習会(サマーキャンプ2023)

日時: 8月26日(土)～27日(日) 場所: 愛知県名古屋市 内容: 学習企画、民族文化ワークショップ、レクリエーション、BBQなど 主催: 韓青関東・東海地方協議会 連絡先: 03-4400-5331 (ハン)

統一マダン生野イベントー朝鮮戦争を完全に終わらせ、平和協定実現に向けて歩もうー朝鮮半島とアジアの平和を考えるつどい

日時: 8月27日(日) 午後1時受付 1時30分開始 場所: クレオ大阪中央 4回セミナーホール 内容: プレゼン(又はビデオ)「朝鮮戦争の真実」、講演(講師: 康宗憲(カン・ジョンホン) 韓国問題研究所代表 参加費: 800円(障害者、学生、75歳以上は500円) 主催: 第28回統一マダン生野実行委員会 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

先日韓国から国会議員が来日し、日本の市民運動とともに汚染水海洋投棄阻止行動を展開し、私たちも参加しました(報告は次号に掲載します)。猛暑の中抗議行動を貫徹しましたが、とにかく暑かった! みなさまも外出の際は熱中症にお気をつけください(李)